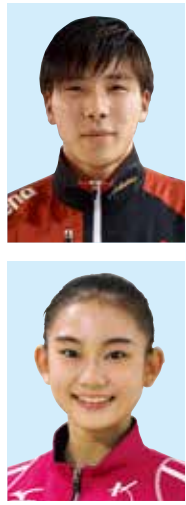


ユニバス最優秀賞受賞

大学スポーツ安全への取り組み部門



川原選手

古井選手

本学は3月27日、一般2019・20において、社団法人大学スポーツ協「安全確保に関する優秀賞(UNIVERSITY SPORTS)」取組部門で最優秀賞(UNIVERSITY SPORTS)」に輝いた。

UNIVERSITY SPORTS)」に輝いたのは、本学が平成30年度より推進する「大学スポーツの安全・安心の確保」に関する取り組みが、UNIVERSITY SPORTS)」の推薦により、最優秀賞に輝いた。

また、「UNIVERSITY SPORTS)」の推薦により、最優秀賞に輝いた。

川原、古井選手は個人受賞

個人受賞として水泳部(年)がパラスイート、川原選手、古井選手、理工4オプ・サイヤの6月29日、建築作品を発表、パブリックを世田谷キ

思い出交え最終講義

令和2年3月をもって退職する政経学部の中根雅夫教授、イラク古代文化研究所の岡田保良教授による最終講義が行われた。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、会場には教職員らの姿が目立つ年となったが、各教授とも講義後は温かい拍手で見送られた。



中根教授



岡田教授

3月9日、政経学部の藤本公明教授が「(UNIVERSITY SPORTS)」大学における研究生活の思い出と題し最終講義を行った。世田谷キャンパス34号館A棟207教室に同部教職員が詰めかけた。

藤本教授は「市民の研究を深めるためには、ドイツの市民生活を身近なレベルで経験することが必要だと判断し、実践した」と述べ、話後は自身のドイツでの研究生活を中心に、同大学の文化的背景、我が国の民法制定までの歴史的背景など、多岐にわたった。

3月5日、世田谷キャンパス34号館B棟310教室で、政経学部の中根雅夫教授の最終講義が情報と組織をテーマに、世田谷キャンパス34号館A棟207教室に同部教職員が詰めかけた。

中根教授は「本学に在任するまでの経歴も含めてこれまでの歩みを振り返りつつ、専門分野である企業情報化の変遷やAIなど最新テクノロジーの今後について語った。

中根教授は「AIの台頭を単純な二元論で語ることはできない。我々が想像力を鍛える重要性は、かつて高まってきた」と強調し、講義を締めくくった。

1月11日、本学イラク古代文化研究所が主催する世界遺産特別講演会「世界遺産の過去・現在・未来」が、世田谷キャンパス34号館B304教室で開催され、学生・教職員約100人が来場した。

この中で、同研究所の岡田保良教授の最終講義を兼ねた特別講演「未来にわたる世界遺産の世界」が行われた。岡田教授は「これまでの自身の研究と世界遺産とのつながりを中心に、世界遺産の魅力について熱く語り、その後行われた座談会でも活発な議論が交わされた。

3学部 学士論文、学業など評価

政経学部、21世紀アジア学、21世紀アジア学、3月卒業生を対象に優秀学生論文発表会を行い、学生の努力の成果をたたえた。

また法学部では、4年間を通じて優秀な成績を修めた学生に対し中村宗雄教授が授与した。表彰者は以下の通り。

●優秀賞
阿部真樹、小畑真太、実延珠子、村上拓音
●奨励賞
田原沙織、戸嶋君明、仲嶺友芽、大野達也、大澤直輝

演劇部劇団が公演

オリジナル作品も披露

本学演劇部員で構成された劇団「MOROSINI」は2月14日、中央図書館多目的ホールで冬の公演「MOROSINI」を開催し、同部OBや教職員らが来場した。冬公演では全3本の演目が発表され、そのうち1本がオリジナル作品。公演の情報は、同部のホームページやSNSなどで随時発信している。



冬公演で迫真の演技を披露する演劇部員ら

プロの視点で鋭い講評

建築学系スーパージュリー

公開講評する第44回入賞作品を発表

建築学系スーパージュリーは、本学が平成30年度より推進する「大学スポーツの安全・安心の確保」に関する取り組みが、UNIVERSITY SPORTS)」の推薦により、最優秀賞に輝いた。

クラブ指導に功労

退職3氏に感謝状

本学は3月、同クラブは、はやぶさクラブ1部として10年以上指導にあたり、3月以上退職する教職員3名に対し感謝状を贈呈した。

感謝状が贈られたのは、藤本公明部長(政経学部)と、大澤直輝(理工4オプ・サイヤ)と、佐藤圭一(理工4オプ・サイヤ)の3名。

優秀卒業生学業など評価

政経学部、21世紀アジア学、21世紀アジア学、3月卒業生を対象に優秀学生論文発表会を行い、学生の努力の成果をたたえた。

演劇部劇団が公演

オリジナル作品も披露

本学演劇部員で構成された劇団「MOROSINI」は2月14日、中央図書館多目的ホールで冬の公演「MOROSINI」を開催し、同部OBや教職員らが来場した。冬公演では全3本の演目が発表され、そのうち1本がオリジナル作品。公演の情報は、同部のホームページやSNSなどで随時発信している。

定年退職者を慰労

令和元年度の「定年退職者を送る会」が3月26日、世田谷キャンパスの国士館大講堂で行われ、3月末に定年退職を迎える教職員8人に感謝状が贈られた。

送る会には、大澤直輝理事長、佐藤圭一学長、岩淵公二校長ら役員や教職員が参加し、退職者の長年の労をねぎらった。大澤理事長は退職者として、国士館大講堂で、元職員一人一人に感謝状を送った。

その後、退職者を代表し、中根雅夫(政経学部長)と、岡田保良(イラク古代文化研究所長)の2名が、国士館大講堂で、元職員一人一人に感謝状を送った。

中根学部長は「国士館大講堂で、元職員一人一人に感謝状を送った。中根学部長は「国士館大講堂で、元職員一人一人に感謝状を送った。」

平野さん 心肺蘇生で人命救助

JR船橋駅で倒れた乗客に対して心肺蘇生士の救命処置を施したとして、理工学部の平野佑馬さん(4年)に2月20日、船橋中央消防署から感謝状が贈られた。

昨年12月13日の午後8時ごろ、当駅でアルバイトをしていた平野さんがホームで男性が倒れたの情報を得た。現場に駆け付けたところ、男性の意識がなかったことから、平野さんは一般乗客と協力して心肺蘇生を施した。救急隊が到着した後も、男性が搬送されるまで救命活動の補助に取組んだ。

平野さんは当時の状況を「助けることに死んで、無心だったと振り返った。男性は一命を取り留め、現在は社会復帰している。」



感謝状を受けた平野さん

授与後、佐藤学長は「寒稽古は国士館創立以来の伝統行事。この伝統行事を皆勤した皆さんは、まさに国士館精神の継承者である。この思いを長身に受け継ぎ、後輩に伝えてほしい」とあいさつした。

入澤副学長や田原淳子学部長らが見守る中、佐藤学長が、各クラブを代表して出席した8人、多摩の3キャンパスの学生一人一人に表彰状を手渡した。

577人が参加した。

授与後、佐藤学長は「寒稽古は国士館創立以来の伝統行事。この伝統行事を皆勤した皆さんは、まさに国士館精神の継承者である。この思いを長身に受け継ぎ、後輩に伝えてほしい」とあいさつした。

入澤副学長や田原淳子学部長らが見守る中、佐藤学長が、各クラブを代表して出席した8人、多摩の3キャンパスの学生一人一人に表彰状を手渡した。

577人が参加した。

授与後、佐藤学長は「寒稽古は国士館創立以来の伝統行事。この伝統行事を皆勤した皆さんは、まさに国士館精神の継承者である。この思いを長身に受け継ぎ、後輩に伝えてほしい」とあいさつした。

入澤副学長や田原淳子学部長らが見守る中、佐藤学長が、各クラブを代表して出席した8人、多摩の3キャンパスの学生一人一人に表彰状を手渡した。

577人が参加した。

男子バスケットボール部

チアダンス部エルブス

マネジャー

山田 莉瑚(21A3年)

私たちが部員約10人で週3日、世田谷、町田キャンパスで活動しています。主な活動はチアダンス選手権大会の出場、学校行事やイベントの参加、箱根駅伝の応援や他クラブの応援などです。部員同士の仲は、練習で教えるなど全員で協力し、チームワークが大切で、大会基礎練習をはじめ、大会

チアダンス部エルブス

山田 莉瑚(21A3年)

私たちが部員約10人で週3日、世田谷、町田キャンパスで活動しています。主な活動はチアダンス選手権大会の出場、学校行事やイベントの参加、箱根駅伝の応援や他クラブの応援などです。部員同士の仲は、練習で教えるなど全員で協力し、チームワークが大切で、大会基礎練習をはじめ、大会

チアダンス部エルブス

山田 莉瑚(21A3年)

私たちが部員約10人で週3日、世田谷、町田キャンパスで活動しています。主な活動はチアダンス選手権大会の出場、学校行事やイベントの参加、箱根駅伝の応援や他クラブの応援などです。部員同士の仲は、練習で教えるなど全員で協力し、チームワークが大切で、大会基礎練習をはじめ、大会

国士館の教育指針

四徳目を備えるには、

不断の「読書・体験・反省」を実践し「思索」すること。

「読書」とは、善き書物に学び、世の中や自然界の真を理解すること

「体験」とは、智慧を持って善悪を判断し、善なる判断を実行すること

「反省」とは、何事を行った後、その行為を省みること

「思索」とは、省みられた内容を検討し、次なる目標を立案すること

国士館の教育指針

四徳目を備えるには、

不断の「読書・体験・反省」を実践し「思索」すること。

「読書」とは、善き書物に学び、世の中や自然界の真を理解すること

「体験」とは、智慧を持って善悪を判断し、善なる判断を実行すること

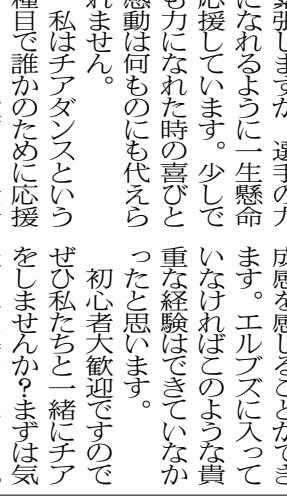
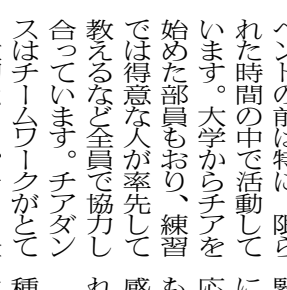
「反省」とは、何事を行った後、その行為を省みること

「思索」とは、省みられた内容を検討し、次なる目標を立案すること

マネジャーの声 NO.37

男子バスケットボール部

チアダンス部エルブス



国士館の教育指針

四徳目を備えるには、

不断の「読書・体験・反省」を実践し「思索」すること。

「読書」とは、善き書物に学び、世の中や自然界の真を理解すること

「体験」とは、智慧を持って善悪を判断し、善なる判断を実行すること

「反省」とは、何事を行った後、その行為を省みること

「思索」とは、省みられた内容を検討し、次なる目標を立案すること

国士館の教育指針

四徳目を備えるには、

不断の「読書・体験・反省」を実践し「思索」すること。

「読書」とは、善き書物に学び、世の中や自然界の真を理解すること

「体験」とは、智慧を持って善悪を判断し、善なる判断を実行すること

「反省」とは、何事を行った後、その行為を省みること

「思索」とは、省みられた内容を検討し、次なる目標を立案すること

国士館の教育指針

四徳目を備えるには、

不断の「読書・体験・反省」を実践し「思索」すること。

「読書」とは、善き書物に学び、世の中や自然界の真を理解すること

「体験」とは、智慧を持って善悪を判断し、善なる判断を実行すること

「反省」とは、何事を行った後、その行為を省みること

「思索」とは、省みられた内容を検討し、次なる目標を立案すること

国士館の教育指針

四徳目を備えるには、

不断の「読書・体験・反省」を実践し「思索」すること。

「読書」とは、善き書物に学び、世の中や自然界の真を理解すること

「体験」とは、智慧を持って善悪を判断し、善なる判断を実行すること

「反省」とは、何事を行った後、その行為を省みること

「思索」とは、省みられた内容を検討し、次なる目標を立案すること